

平成29年度第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会 次第

日時：平成29年5月31日（水） 午後6時30分～

場所：市役所13階大会議室

1 開会

2 市民政策局長挨拶

3 議題

(1) 昨年度開催の懇談会における意見への対応について

(2) 平成29年度における地方創生関連交付金事業等について

(3) その他

4 閉会

たかまつ創生総合戦略推進懇談会名簿（平成29年4月1日現在）

（敬称略 五十音順）

| 区分 | 氏名 | 役職等 | 備考 |
|--------|--------|------------------------------------|----|
| 会長 | 佃 昌道 | 高松大学・高松短期大学 学長 | |
| 副会長 | 野田 法子 | 高松市婦人団体連絡協議会 会長 | |
| 委員 | 石田 雄士 | 高松市コミュニティ協議会連合会 会長 | |
| | 桑井 弘之 | 株式会社四国新聞社 執行役員 編集局長 | |
| | 桑村 美奈子 | 地域イベントプロデューサー | |
| | 坂口 祐 | デザイナー／物語を届けるしごと | |
| | 鈴木 義博 | 日本労働組合総連合会香川県連合会 事務局長 | |
| | 徳倉 康之 | NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事 | |
| | 中橋 恵美子 | NPO法人わははネット 理事長 | |
| | 藤田 壽子 | 公募委員 | |
| | 槇田 實 | 高松商工会議所 常議員 | |
| | 三井 文博 | NPO法人アーキペラゴ 代表理事 | |
| | 三宅 雅彦 | 株式会社百十四銀行 執行役員 地域創生部長 | |
| | 柳 富夫 | 四国経済産業局資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 課長 | |
| オブザーバー | 寺嶋 賢治 | 香川県政策部政策課 課長 | |

平成28年度第2回たかまつ創生総合戦略推進懇談会（平成28年8月開催）における意見への対応（地方創生関連交付金）

資料 1-1

| No | 施策名 | 懇談会での意見 | 懇談会での意見に対する事業の見直し等対応状況 | 担当課 |
|----|--|--|---|-------|
| 1 | 観光資源の活用と創出 (屋島活性化情報発信力 強化事業) | <p>①屋島は歴史や自然・景観も素晴らしいので、関係機関と協力して情報を発信してほしい。</p> <p>②観光客を屋島に呼び込むためにも、もう少し予算を付けて誘客に向けた仕掛けを充実させてほしい。</p> | <p>①屋島ナビについては、市と市が認めた団体によるイベント情報等の投稿を可能とし、源平屋島地域で各種施策を実施している源平屋島地域運営協議会と連携して、市民や観光客を対象としたイベントや屋島の自然等の情報発信を実施している。</p> <p>②屋島ナビについては、行政主体の情報発信を改め、民間団体と連携してイベント等の情報発信を行ったことで、平成28年度のアクセス数は前年度比約2倍になった。今後も、多くの人々に屋島及び屋島周辺地域の情報を発信できるようにするとともに、更なる誘客方法を検討し、必要な予算確保に努めてまいりたい。</p> | 観光交流課 |
| 2 | 観光情報の効果的発信 (S.A・航空会社連携 キャンペーン事業) | <p>事業の効果を計るためにも、クーポン券を配布し、クーポン券の回収率で来県者を把握するなど、事業成果が確実に把握できるような仕組みを考えればよいと思う。</p> | <p>事業効果を確実に把握できる仕組みの検討は非常に重要であるため、クーポン券配布を含め、事業効果を図ることが可能な手段について再検証する。その際、再訪を促す魅力的なインセンティブ内 容や期限等について、協賛企業等を募り、関係者と検討していき たい。</p> | 観光交流課 |
| 3 | 観光情報の効果的発信 (観光客誘致宣伝事業) | <p>①香川県と高松市の観光パンフレットは、掲載内容が重複している部分がある。高松市は主要観光地が多いため重複している部分が多いが、いろいろなパンフレットで紹介されれば、それだけPR効果は大さ い。</p> <p>②同じようなパンフレットばかりではなく、隠れた観光地などを紹介した地域性のある差別化したパンフレットも必要ではないか？</p> | <p>①本市独自のコンパクトな着地型パンフレットは好評を得ており、県外向け誘客型パンフレットについても、積極的に各プロモーションにおいて活用し、より効果的なものとするよう努めている。</p> <p>②本市においては、屋島や塩江など、各種パンフレットを活用しているところであり、今後も、地域性のある差別化した観光情報を、紙媒体に限らず、Web上で常に新しい観光情報発信に努める。</p> | 観光交流課 |

| No | 施策名 | 懇談会での意見 | 懇談会での意見に対する事業の見直し等対応状況 | 担当課 |
|----|--|--|---|----------|
| 4 | 集約拠点における都市機能集積（多核連携型コンパクト・エコシティ推進事業） | <p>①人口減少・超高齢社会において、現状を分析し、長期的な計画の基で、公共施設や病院を適切に配置することはまちづくりにおいて大変重要である。</p> <p>②高松市はコンパクトで住みやすい街なので、もっと住みやすい街になるように、本事業などを活用し推進してほしい。</p> <p>③都市機能の集約と同時に、農地として確保すべき地区も考慮すべきである。田園風景などの美しい景観の維持・保全についても考えてほしい。</p> | <p>①②③本市では、人口減少・高齢化社会を迎える中、コンパクトで持続可能なまちづくりを実現するため「多核連携型コンパクト・エコシティ推進計画」に基づいて、各種事業に取り組みっており、平成28年度末に、その推進の後押しとなる、高松市立地適正化計画（仮称）素案を取りまとめた。</p> <p>立地適正化計画とは、都市全体の30年・50年先を見据え、居住を誘導する居住誘導区域と、食品スーパー等の生活利便施設を誘導する都市機能誘導区域を設定し、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、これらの区域に緩やかな誘導を図るもので、公共交通ネットワークの再構築など各種の施策を講じることにより、人口減少の中にあっても持続可能なまちづくりを目指そうとするものである。</p> <p>計画策定にあたり、都市機能及び居住誘導区域の設定をする上で、人口動態等、現状等の詳細な人口データ等を分析し、区域設定を行いました。今後、施策における取り組みべき内容のひとつとして、農地の保全等の取組について検討をすすめていくこととしていく。</p> <p>なお、平成29年度末計画策定に向け、作業を進めている。</p> | まちづくり企画課 |
| 5 | 人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの導入（公共交通利用促進事業） | <p>啓発も必要だが、ハード事業であるICカードの普及やバス停の改善で利用者が増加している事例もある。行政と事業者とが連携しハードを整備していくことも重要である。</p> | <p>御意見のとおり、公共交通の利用促進に向けては、交通事業者と連携した様々な取組を進めている。</p> <p>このうち、ICカードについては、カーフリーデー高松等を活用して、普及・促進に努めるとともに、バス待ち環境の整備事業として、バス停への上屋やベンチの設置を進めており、今年度は、ことごと、県及び沿線自治体が連携して、IruCaが利用できるエリアで鉄道大手のICカード（Suica、ICOCAなど）が利用できるようシステムの改修を行う。</p> <p>また、鉄道への新駅の整備や複線化事業につきましても、鉄道事業者と連携し事業を進めており、今後とも、交通事業者との連携により、各種施策を効果的に進めていく。</p> | 交通政策課 |

| No | 施策名 | 懇談会での意見 | 懇談会での意見に対する事業の見直し等対応状況 | 担当課 |
|----|---|---|--|--------------------------------------|
| 1 | <p>中小企業等の育成と振興 （中小企業人材確保・就業機会拡大事業）</p> | <p>①この施策では「就職面接会参加者の満足度」を成果指標として いるが、参加している中小企業の満足度も図る必要があると感じ る。企業にマッチする人材確保が大事である。</p> <p>②起業しやすい土壌づくりなどの創業支援と事業承継の支援が重 要である。これらの総合的な事業支援により、にぎわいを創出するこ とで、他市とは違う人口減少対策になると考える。</p> | <p>①従来から参加企業の満足度についてもアンケートは実施してきており、近年、雇用 情勢が求職者有利な売り手市場に変化中、今年度（28年度決算）の事務 事業評価より、成果指標を「参加企業の満足度」に変更したところである。今後はこ うした参加企業のニーズ等も踏まえながら効果的な就職面接会の開催に努めていき たい。</p> <p>②創造性に富む発想や独自性のある技術を活用した新規事業者等を対象に、平成 24年度に本市が設置したインキュベーション施設である「高松市創造支援セ ンター」の活用や、27年度に策定した高松市創業支援事業計画に基づき、高松商 工会議所、金融機関等と連携して、創業を目指す方や創業後まもない方を対象とし た創業セミナー（通称：たかまつ創業塾）の開催を行った。 また経済産業省が整備した香川よろず支援拠点を中心とする連絡会議において情 報交換や意見交換を行うなど、関係機関と連携し、総合的な事業支援を行って いる。</p> | <p>産業振興課</p> |
| 2 | <p>配慮を要する子どもと保護者 への支援（要保護児童対策 事業）</p> | <p>移住対策として、子育てするなら高松としてPRしているが、要保護 児童対策事業を充実するなど、よりきめ細かく手厚いサービスを行え ばより一層のPRになるので、検討してほしい。</p> | <p>配慮を必要とする子どもと保護者への対応としては、主任保育教士1名のほか、 家庭相談員3名と要保護児童対策事業専門職員1名で対応しており、市だけでな く民間で実施している事業など、その家庭に必要な支援を検討し、活動をしている。 また、高松市児童対策協議会は34団体により構成されており、児童虐待の防止 に向けて啓発活動や事例検討等を行うとともに、常に関係機関との連携が取れるよ う努めている。</p> <p>さらに、平成28年度より保健センター内に子育て世代包括支援センターが設置 され、その役割の一つとして乳児及び幼児に対する虐待の予防や早期発見の取組を 実施している。</p> <p>また、子育て支援拠点をはじめとする子育てを応援する団体の活動も活発になっ てきていることから、幼稚園、小学校など関係機関は言うまでもなく、今後は地域で活 動している団体とも連携を取りながら、子育て家庭が、妊娠前から子育て期まで安 心して子どもを養育できるように支援をしていきたい。</p> | <p>子育て支援 課 子ども女性 相談室</p> |

| No | 施策名 | 懇談会での意見 | 懇談会での意見に対する事業の見直し等対応状況 | 担当課 |
|----|-------------------------|---|--|-----|
| 3 | 選ばれる地域づくりの推進（移住・交流促進事業） | <p>① 昨年、自分は、東京から高松市へ移住した。そのため、高松市への移住を検討している人には、自分達がモデルケースになるので、私達の体験やコメントなどを活用して移住促進を図ってほしい。</p> <p>② 自分が移住希望者から相談を受けた際に、具体的な希望に対する回答やおすすめの地域などを伝えた結果、移住が実現した。移住者に対する丁寧な対応やつながりが大事で、それらが高松らしさになると思う。</p> <p>③ 香川県の移住のHPは、仕事の関係で移住した人や家族で移住した人などのストーリーをうまく紹介しており、移住希望者には興味をひく内容になっている。高松市も移住者は多いと思うので、上手な情報発信の方法などは取り入れていければいいと思う。また、移住対策として、移住支援金などのお金をかけなくても、きめ細やかな移住対応などが移住促進には有効であると考ええる。</p> | <p>①② 本市に移住してきた方の、移住時における不安等を緩和し、定住につなげるための総合的・継続的なサポート体制として、平成29年5月1日に「たかまつ移住応援隊」を設置し、本市への移住経験者であり、たかまつ創生総合戦略推進懇談会の委員でもある3名の方に移住リーダーに就任していただいた。また、同日から5月26日までの間で、市民目線でのSNSを活用した情報発信等を担っていた「一般サポーター」や、移住者にとって関心の強い「地域」、「子育て」、「住宅」、「仕事」といった面での相談対応や支援等を担っていただく「専門サポーター」の募集を行った。今後は、「たかまつ移住応援隊」に参加する市民の方や企業等と連携しながら、情報発信の強化や、移住後も含めた相談対応や交流機会の創出などに努める。</p> <p>③ 平成24年度から本市ホームページ上に開設している「高松市移住ナビ」について、実際に本市に移住した方のインタビュー等も交えながら、より移住後の生活をイメージしやすく、アクセスする側にとって便利で、親しみやすいサイトとなるよう、29年度に全面的な改修を行います。その際には、28年度に取り組んだ調査研究の結果として導き出した、移住（希望）者にとっての本市の魅力である、「就業・起業などの働きやすさ」や「生活のしやすさ」、「子育てのしやすさ」といった、本市で暮らすことでの優位性を効果的に発信できるようなサイトとてきるような改修に取り組む。 また、移住者向けのパンフレットについても、移住ナビと同様の観点で、29年度に全面的な見直しを行う。</p> | 政策課 |

| No | 施策名 | 懇談会での意見 | 懇談会での意見に対する事業の見直し等対応状況 | 担当課 |
|----|---|--|---|---------|
| 4 | 市民スポーツ活動の推進 (市民スポーツ活動推進事業) | 少子化が進む中で、参加者を増やすためにも、子どもだけでなく家族で参加できる大会を増やしてはどうか。普段スポーツをする機会の少ない親も参加すれば、スポーツのすそ野が広がる。 | これまでも、ウォーキングやニュースポーツ体験など、楽しく、気軽に誰もが参加できるスポーツイベントとして、5月には仏生山公園等において「スポーツカーニバル」、10月には中央公園における「トリムの祭典」や、「高松ファミリー&クォーターマラソン」の開催を推進し、一人でも多くの市民の方にスポーツに親しむ機会を提供している。また、4月23日にリニューアルした「屋島レクザムフィールド（屋島競技場）」におけるオープンイベントでも、家族が参加できるウォーキングやゆるスポーツ体験等を開催したところである。今後は、これまで以上に家族を始め、誰もが気軽に参加しやすいスポーツイベントの企画に努めてまいりたい。 | スポーツ振興課 |
| 5 | 観光資源の活用と創出 (①高松城跡(玉藻公園)をいかした観光振興事業、②源平屋島地域観光振興事業、③屋島活性化推進事業) | ①屋島ナビ（ポータルサイト）について、屋島の活性化とも関係しているため、今後ターゲットをばった戦略的な展開を検討してほしい。 ②屋島ナビのアクセス数を成果指標としているが、目標値が少ない。現状のアクセス数の少なさを分析し対応策を検討するとともに、SNS等の情報発信により旬な情報発信を行うことでアクセス数が増加すると思う。 ③香川県は、優良な観光資源がたくさんあるので、点ではなく面として県内全域で観光振興を図ってほしい。 ④高松市は歴史もあるので、歴史的なことも関連付けて観光振興を図ってほしい。 | ①屋島ナビについては、市と市が認めた団体によるイベント情報等の投稿を可能とし、源平屋島地域で各種施策を実施している源平屋島地域運営協議会と連携して、市民や観光客を対象としたイベント等の情報発信を実施している。 ②屋島ナビについては、行政主体の情報発信を改め、民間団体と連携してイベント等の情報発信を行ったことで、平成28年度のアクセス数は前年度比約2倍になった。今後は、屋島及び屋島周辺地域の情報を広く発信できるように努める。 ③香川県を中心に8市9町が一体となって、面として滞在交流型観光の推進に取り組んでいる「香川せとうちアート観光圏」において、県内全域で今まで以上に観光振興に取り組むよう働きかける。 ④高松まちかど漫遊帖、ボランティアガイド等との連携を図り、まちあるき観光素材の発掘に今後も積極的に取り組む。 | 観光交流課 |

地方創生関連交付金 実施計画一覧

| No | 交付金の区分 | 交付対象事業の名称 | 事業の概要：目的 | 事業の概要：交付金を充てる経費内容 | 交付額(千円) | 交付対象事業費(千円) | 予算区分 | 事業開始年月 | 事業終了年月 | 本交付金事業における重要業績評価指標 (KPI) | | | | 総合戦略の関連項目 | 指標の説明 |
|----|-----------------|--|--|--|---------|-------------|-------|--------|--------|---|----------------------------|---------|--------------------|-----------|--------------|
| | | | | | | | | | | 指標 | 指標値 (A) ※目標年月(C)における目標値 | 実績値 (B) | 目標 (B/A) 年月 (C) | | |
| 1 | 地方創生推進交付金(先駆型) | 「高松益裁の郷」構想を中心とした盆裁振興対策事業 ※香川県との広域連携事業 | 「高松益裁の郷」構想に基づき、盆裁文化を国内外に普及・定着させ盆裁の振興を図るため、国内需要の拡大、産地基盤の強化に加え、「高松益裁の郷」づくりによる地域のブランド化の確立に向けた総合的な支援を実施する。 | 【盆裁産地基盤強化対策事業】 (1) 輸出拡大への取組 ①盆裁輸出条件整備 ②盆裁輸出振興事業 ③海外愛好者へのサービスマネジメント (2) 国内需要拡大への取組 ①高松盆裁PR事業 ②盆裁大会出席支援事業 (3) 産地の生産基盤強化への取組 ①高松盆裁生産振興 ②後継者受入体制整備 【高松益裁の郷」推進事業】 (1) 「高松益裁の郷」基本計画の作成 (2) 「高松益裁の郷」推進事業 | 8,867 | 17,734 | H29当初 | H29.5 | H30.3 | 100本 (増加分) (単位：年間本) | - | H30.3 | P11 | 1-1-⑥ | 特産品の育成・振興 |
| 2 | 地方創生推進交付金(構展開型) | 「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進事業 | 大都市圏を中心とする県外から本市への移住を促進するため、新たに設置する「たかまつ移住応援隊」によるプロモーション活動等を軸として、行政だけでなく、市民や企業、各種関係団体等と連携した形で、より多くの移住者を呼び込むとともに、その移住者が本市に定着し、経済活動や地域活動において活躍できるよう、移住者と受け入れ側双方への支援にも取り組む。 | (1) 「たかまつ移住応援隊」の活動 ①応援隊ミーティング ②首脳部交流会 ③移住体験ツアー ④「仕事」サポーター (U・I・J) ターン就職に積極的な企業を認定し、採用活動等を支援 ⑤「仕事」サポーター (市内企業後継候補者の発掘・移住に向けた働きかけ) (2) 「高松市移住ナビ」の全面改修、保守運用 (3) 「移住フェア」等参加、「たかまつ移住ナビ」の更新 | 2,670 | 5,340 | H29当初 | H29.5 | H30.3 | 20世帯 | - | H30.3 | P18 | 2-2-① | 選ばれた地域づくりの推進 |
| | | | | | | | | | | 盆裁を生産する認定産業者数(増加分) (単位：人) | 0人 | H30.3 | | | |
| | | | | | | | | | | 盆裁販売額(増加分) (単位：千円) | 2,560千円 | H30.3 | | | |
| | | | | | | | | | | 「たかまつ移住応援隊」の関わる取組を利用したことのある移住世帯数(増加分) (単位：世帯) | - | H30.3 | | | |
| | | | | | | | | | | 県外から本市への1年間の移住者数(増加分) (単位：人) | 200人 | H30.3 | | | |

たかまつ創生総合戦略 平成29年度新規登録分 事業一覧

資料 2-3

| 基本目標 施策の基本的方向 具体的な施策 | 数値目標 | 指標名 | たかまつ創生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月策定 | | 事業名 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方創生 交付金等 |
|---|--|------------------------------|--|--------------|----------------------------------|-------------|--|--------------|
| | | | 指標の説明 | 実績(現況値) | | | | |
| 1 創造性豊かで人間中心のまちを創る 1 地域を支える産業の振興と経済の活性化 6 特産品の育成・振興 | 平成31年に本市の 主な観光施設等利 用者数を6,570千 人 (平成26年本市の 主な観光施設等利 用者数6,509千 人) | 販路開拓事 業参加者 数(人) | 販路開拓事業 の参加者数 | 平成27年度 実績 | たかまつ産ご じまん品6次 産業化等支援 事業 | 2,500 | 高松産ごじまん品(農産物)を活用した 6次産業化や農工商連携を促進するた め、地域の活性化が期待でき、独自の 将来性のある「新たな加工品やサービス の開発」に対して支援を行う。 | 地方創生 交付金等 |
| 1 創造性豊かで人間中心のまちを創る 2 文化芸術の振興 1 文化芸術活動の推進 | | アウトリー チ事業の参 加者数 (人) | 地域にアウト リーの文化芸術 活動(アウト リーチ事業) の参加者数 | 67,757 | 高松市美術展 開館30周年 記念事業 | 1,112 | 市民に優れた芸術を鑑賞できる機会を提 供するため、開館30周年を記念して、 美術館主催展5展及び記念講演会等のイ ベントを開催する。 また、収蔵品図録や外国人対応パンフ レットの発行のほか、隣接する商店街と 連携事業を開催し、美術館や美術をより 親しみのあるものとする。 | |
| 3 スポーツの振興 1 市民スポーツ活動の推進 | | 社会体育施 設利用者数 (人) | 本市の社会体 育施設の延べ 利用者数 | 1,983,195 | サンポート高 松トライアス ロン大会開催 事業 | 30,000 | 市民のスポーツに対する関心や興味をよ り一層高めるとともに、各種スポーツへ の参加(する・見る・支える)につなげ るため、サンポート高松トライアスロン 大会に、世界トップアスリートのみが参 加するアジアカップを誘致し、世界トップ レベルの迫力を間近に観戦できる機会 を提供するとともに、2020年の東京 オリンピックに向けた事前合宿の誘致等 につなげる。 | 地方創生 振興 |
| 1 創造性豊かで人間中心のまちを創る 4 訪れたいくなる観光・MICEの振興 3 MICE(マイス)の誘致促進 | | コンベン ション数 (件) | 1年間に高松工 リアで開催さ れたコンベン ション数 | 217 | MICE振興 事業 | 45,100 | 本市が有するMICE開催に必要な機能 の更なる充実や有識的な連携を図ること により、高松ならではのMICE誘致を 展開するため、MICE振興戦略に基づ く振興策を推進する。 | |

たかまつ創生総合戦略 平成29年度新規登録分 事業一覧

資料 2-3

| 基本目標 施策の基本的な方向 具体的な施策 | 数値目標 | 指標名 | 指標の説明 | 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月策定 | | 事業名 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方創生 交付金等 |
|-----------------------------|---|---|------------------------------|-------------------------------|-----------------------|--------|-------------|---|--|
| | | | | 平成26年度 実績 (現況値) | 平成27年 目標値 (H31) | | | | |
| 5 人口減少 を抑制する | 2 若者から選ばれるまちを創る 2 移住・交流の促進 1 選ばれる地域づくりの推進 1,000人 (平成26年社会増 289人) | 高松市移住ナビ(ホームページ)閲覧件数(件) | 高松市移住ナビのホームページ閲覧件数 | 9,629 | 4,797 | 13,000 | 196 | 若者の自立を支援するため、子ども・若者育成支援推進法に基づく「高松市若者育成支援推進協議会(仮称)」を設置し、関係機関が相互に協力・連携すること、若者支援に関する情報交換のほか、若者のそれぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築し、各種施策を展開する。 | |
| | | 3 子どもを生きかえりやすいまちを創る 3 社会を生きかえりやすいまちを創る 1 確かな学力の育成 | 認定こども園数(施設数) | 教育・保育施設のうち認定こども園の施設数 | 1 | 8 | 12 | 3,000 | 子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流を促進するための、こども未来館において、公募によるイベントプログラムのほか、開館1周年を記念してこども未来館まつりを実施します。 |
| 6 戦略 | 3 子どもを生きかえりやすいまちを創る 3 社会を生きかえりやすいまちを創る 1 確かな学力の育成 | 学校評価平均評価得点(確かな学力の育成に関する点) | 各校の評価得点(最高値4点、最低値1点)の平均点と(点) | 3.16 | 3.21 | 3.20 | 2,364 | 「G7香川・高松情報通信大臣会合」を機に、全国に先駆け、本市独自の情報教育を試験的に実施するため、パイロット校に指定した小・中学校において、タブレット端末やICT機器等を活用したアクティブラーニングを実施する。 | |
| | | 5 持続可能なまちを創る 8 健全で信頼される行政運営の確立 1 効率的な行政運営の推進 | 各種方針・計画等の進捗率(%) | 施設の再編整備 備についての各種方針・計画等の進捗率 | | | | | |
| 7 人口減少社会に対応する戦略 | 5 持続可能なまちを創る 8 健全で信頼される行政運営の確立 1 効率的な行政運営の推進 | 平成31年までに1年間 の転入と転出の差 (社会増)を 1,000人 (平成26年社会増 289人) | 高松市移住ナビ(ホームページ)閲覧件数(件) | 9,629 | 4,797 | 13,000 | 196 | 若者の自立を支援するため、子ども・若者育成支援推進法に基づく「高松市若者育成支援推進協議会(仮称)」を設置し、関係機関が相互に協力・連携すること、若者支援に関する情報交換のほか、若者のそれぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築し、各種施策を展開する。 | |
| | | 3 子どもを生きかえりやすいまちを創る 3 社会を生きかえりやすいまちを創る 1 確かな学力の育成 | 認定こども園数(施設数) | 教育・保育施設のうち認定こども園の施設数 | 1 | 8 | 12 | 3,000 | 子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流を促進するための、こども未来館において、公募によるイベントプログラムのほか、開館1周年を記念してこども未来館まつりを実施します。 |
| 8 人口減少社会に対応する戦略 | 5 持続可能なまちを創る 8 健全で信頼される行政運営の確立 1 効率的な行政運営の推進 | 平成31年までに1年間 の転入と転出の差 (社会増)を 1,000人 (平成26年社会増 289人) | 高松市移住ナビ(ホームページ)閲覧件数(件) | 9,629 | 4,797 | 13,000 | 196 | 若者の自立を支援するため、子ども・若者育成支援推進法に基づく「高松市若者育成支援推進協議会(仮称)」を設置し、関係機関が相互に協力・連携すること、若者支援に関する情報交換のほか、若者のそれぞれの置かれた状況等にきめ細やかに対応できる支援体制を構築し、各種施策を展開する。 | |
| | | 3 子どもを生きかえりやすいまちを創る 3 社会を生きかえりやすいまちを創る 1 確かな学力の育成 | 認定こども園数(施設数) | 教育・保育施設のうち認定こども園の施設数 | 1 | 8 | 12 | 3,000 | 子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流を促進するための、こども未来館において、公募によるイベントプログラムのほか、開館1周年を記念してこども未来館まつりを実施します。 |

たかまつ創生総合戦略の推進に関する効果検証について

たかまつ創生総合戦略の効果的・効率的な推進を図るため、下記内容で効果検証を実施します。効果検証の結果については、公表を予定しております。

1 たかまつ創生総合戦略に関する効果検証について

□効果検証について

・たかまつ創生総合戦略に定められた基本目標達成に向けて、同総合戦略に登載された事業などを、下記の視点を中心に、毎年度、見直します。

- ①今後、拡充していくべき事業
- ②新規に取り組むべき事業
- ③効果が認められないため、廃止すべき事業
- ④各事業間で、連携を図る必要がある事業

2 地方創生関連交付金に係る各種事業の効果検証について

□効果検証について

・各地方公共団体においては、地方創生関連交付金に係る全ての事業について、外部有識者等の意見聴取も含め、KPIの達成度の検証を行う必要があります。

□効果検証の様式（国への報告書の一部抜粋）

| No | 本事業における重要業績評価指標（KPI） | | | | 本事業終了後における実績値 | | 外部有識者からの評価 | | 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|----|----------------------|-----|----|------|---------------|------|------------|------------|-------------------|----------|
| | 指標 | 指標値 | 単位 | 目標年月 | 実績値 | 事業効果 | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| 1 | 指標① | | | | | | | | | |
| | 指標② | | | | | | | | | |
| | 指標③ | | | | | | | | | |
| | 指標④ | | | | | | | | | |
| | 指標⑤ | | | | | | | | | |

下記 2 択から選択

- ①本事業が総合戦略の KPI 達成に有効であった
- ②本事業は総合戦略の KPI 達成に有効とは言えなかった

下記内容を意見として記入

- 【有効の場合】評価した点など
 【有効とは言えなかった場合】良くなかった点、原因、改善策など

□平成29年度の効果検証スケジュール

| | |
|----|--|
| 5月 | ・第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会 開催（効果検証方法等の説明） ↓ ※追加資料の送付 |
| 8月 | ・第2回たかまつ創生総合戦略推進懇談会で、とりまとめた資料に基づき事業を効果検証 |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 戦略 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 具体的な施策 | 九がまつ衛生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月算定 | | | 事業名 | 追加・完了 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方創生交付金等 |
|------------------------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|---------------------------------------|---------|----------------|---------|-------------------|----------|---|-----------|
| | | | | | 指標名 | 指標の説明 | 平成26年度実績 (現況値) | | | | | |
| 人 2 若者から人口減少を抑制する戦略 | 平成31年に1年間の転入と転出の差(社会増)を1,000人(平成26年社会増289人) | 1 大学等高等教育の充実 2 移住・交流の促進 | 1 大学の魅力向上への取り組み 2 還られる地域づくりの推進 | 包括協定を結んでいる大学の学生・生徒の充てん率 (%) | 包括協定を結んでいる大学の学生・生徒の充てん率 (%) | 91.0 | 89.5 | 92.0 | 大学等連携による地域の魅力発信事業 | 5,364 | 地域課題の解決や地域活性化を図るため、地元大学等と連携し、学生の視点を生かした大学等や地域の魅力発信に取り組みます。 | |
| | | | | 高松市移住ナビ(ホームページ)制作数 | 高松市移住ナビ(ホームページ)制作数 | 9,629 | 4,797 | 13,000 | 移住・交流促進事業 | 15,915 | 本市への移住・交流人口の増加を図るため、県とも連携しながら、本市が持つ多様な魅力や地域・観光資源や都市機能等の情報の効果的な発信など、本市への移住・交流の誘引に努めます。 また、平成31年に年間の社会増を1,000人の達成に向けて、たかまつ移住応援の取組など、各課の移住・定住促進方針に取り組みます。 | 地方創生推進交付金 |
| 人 2 若者から人口減少を抑制する戦略 | 平成31年に1年間の転入と転出の差(社会増)を1,000人(平成26年社会増289人) | 1 大学の魅力向上への取り組み 2 還られる地域づくりの推進 | 1 大学の魅力向上への取り組み 2 還られる地域づくりの推進 | 各島の年間交流者数(人) | 1年間の女木島・男木島・大島と島外の交流者数 | 126,143 | 149,708 | 126,500 | 若者育成支援推進事業 | 196 | 若者の自立を支援するため、子ども・若者育成支援推進法に基づき「高松市若者育成支援推進協議会(仮称)」を設置し、関係機関が相互に協力し、連携することで、若者支援に関する情報交換のほか、若者のそれぞれの働きやすさや魅力を引き出すための支援体制を整え、各課施策を展開します。 | |
| | | | | 各島の年間交流者数(人) | 1年間の女木島・男木島・大島と島外の交流者数 | 126,143 | 149,708 | 126,500 | 大島親親方推進事業 | 1,566 | 大島におけるこれまでの「セン」稱親親所としての歴史等を後世に伝えていくとともに、瀬戸内国際交流センターを拠点として育まれた、至極関係性を結ぶことができる島外の人々との交流を更に活性化するなど、「大島親親方策」に掲げる具体的な施策・事業(4.2事業)を計画的に実施します。 | 基礎交付分 |
| 人 2 若者から人口減少を抑制する戦略 | 平成31年に1年間の転入と転出の差(社会増)を1,000人(平成26年社会増289人) | 1 大学の魅力向上への取り組み 2 還られる地域づくりの推進 | 1 大学の魅力向上への取り組み 2 還られる地域づくりの推進 | 就業支援・通職相談事業実施者数(人) | 就業支援・通職相談事業実施者数(人) | 384 | 632 | 480 | 離島道路整備事業 | 8,112 | 女木島及び男木島に観光客呼び込み、定着させ、ひいては、雇用の活性化を図るため、瀬戸内海の魅力の発信、交流人口の増加、地域振興、若者に合わせた取組などを行います。 | |
| | | | | 就業支援・通職相談事業実施者数(人) | 就業支援・通職相談事業実施者数(人) | 384 | 632 | 480 | 就業支援推進事業 | 3,390 | 就業支援の推進及び労働者の就業環境の向上に資するため、子育て支援中小企業等表彰や労働関係情報の発信等を行います。 | |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 職 業 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 具体的な施策 | たかまつ産生活合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月末現在 | | | | 事業名 | 追加・完了 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方創生交付金等 | |
|-------------------------------------|----------------------------------|---|--------------------------------------|------------------------------------|--|----------------------|------------------------------|----------|------|-------|-----------|--|--|-----------|
| | | | | | 指標名 | 指標の説明 | 平成26年度実績 (現況値) | 平成27年度実績 | | | | | | 目標値 (H31) |
| 人 口 減 少 や す い ま ち を 創 る 抑 制 す る 戦 略 | 3 子 ども を 生 み 育 て や す い ま ち を 創 る | 平成31年までに合計特別出生率を1.68(平成20年一合計特別出生率1.62) | 1 子 ども が 健 や か に 生 ま れ 育 つ 環 境 の 充 実 | 1 子 ども の 心 身 の 健 や か な 育 ち へ の 支 援 | 指標名 | 1歳6か月児健康診査受診率 (%) | 1歳6か月児健康診査受診率の向上を目的とした割合 | 91.8 | 93.0 | 93.0 | 21,629 | こんにちは赤ちゃん事業 | 生後間もない児がいる家庭を訪問し、育児に対する不安の解消や育児支援を行います。 | 地方創生交付金等 |
| | | | | 2 健 や か な 成 長 を 促 す 字 び ぬ け 支 援 | 指標名 | 認定子ども園数 (施設数) | 教育・保育施設のうち認定子ども園の施設数 | 1 | 8 | 12 | 15,663 | 妊婦期から子育て期にわたる様々な不安を抱える子育て世代へ支援を行うため、母子保健コーディネーターを配した子育て世代包括支援センターを設置するなど、切れ目のない支援を実施します。 | | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 37,617 | 保育園・幼稚園等への芸術士派遣事業 | 絵画や造形などの専門家である芸術士を保育所・こども園・幼稚園へ派遣し、それぞれの芸術分野を生かしながら、子どもが持っている感性や創造力を伸ばしていきけるよう努めます。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 1,138,713 | 私立保育所・幼稚園等施設整備補助事業 | 待機児童の解消を図るため、幼稚園等から認定子ども園への移行や私立保育所の創設等の施設整備に対する支援を行うほか、保嬰環境の改善を図るため、私立保育所が実施する大規模修繕等に対して支援します。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 3,000 | こども未来館わくわく体験事業 | 子どもの夢や想像力を育み、健やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の男女の交流を促進するため、こども未来館において、公開によるイベントプログラムのほか、朝顔1周年を記念してこども未来館まつりを実施します。 | 地方創生交付金等 |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | | こども未来館整備事業 | 旧市民文化センター本館の跡地に、子どものための施設・事業を実施する「こども未来館」を平成28年11月の開館を目指して整備します。事業の進捗等を考慮して「高松市夢みらい図書館」、「高松市平和記念館」及び「高松市男女共同参画センター」を同一建物内に整備します。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | | こども未来館等開館記念事業 | 「高松市こども未来館」、「高松市男女共同参画センター」、「高松市平和記念館」及び「高松市夢みらい図書館」の開館を記念して、幅広い世代の市民の来館を促し、施設全体のにぎわいを創出するため、開館記念事業を実施します。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 5,112 | 要保護児童対策事業 | 関係機関等と連携し、児童虐待を始めとする要保護児童の早期発見と保護や適切な対応に努め、その家族を支援するとともに、児童虐待防止啓発活動をを行います。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 7,348 | 養育支援訪問事業 | 子育てに支援が必要でありながら、自ら支援を求めることが困難な家庭に対し、状況に応じて助産師や保健師、保育士等の養育支援員が家庭を訪問し、支援を行います。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 412 | ひとり親家庭子育て支援事業 | ひとり親家庭の子育ての負担軽減を図るため、たかまつファミリー・サポート・センターが実施する援助活動の利用料の一部を補助します。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 3,696 | 母子家庭等就業・自立支援事業 | 母子家庭等の自立支援のため、就職支援セミナーや就業に結びつく可能性の高い技術・資格を有するための就業講習会等を実施するほか、面会交流支援事業の利用料の一部を補助しています。また、一時的に生活援助が必要な場合に家賃等の生活支援を行います。 | |
| | | | | 3 配 慮 を 要 す る 子 ども と 保 護 者 へ の 支 援 | 指標名 | 自立支援プログラム認定者の就労率 (%) | 母子・父子自立支援プログラム認定者のうち就労に至った割合 | 78.3 | 67.2 | 85.0 | 179,443 | 発達障がい児等支援事業 | 発達障がい等のあるケースに適切に対応するため、公立保育所等に発達障がい児等支援員を配置するとともに、私立保育所等に対して、要支援児童を保育するするための必要な経費の一部を負担するなどの支援を実施します。 | |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 戦略 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 具体的な施策 | 指標名 | 指標の説明 | たかまつ産生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月算定 | | | 事業名 | 追加・完了 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方創生交付金等 |
|-------------|-------------|---|----------------------|---------------|-------------------|--------------------------------|---------------------------------------|----------|-----------|-------------------|-------|-----------|---|----------|
| | | | | | | | 平成26年度実績 (現況値) | 平成27年度実績 | 目標値 (H31) | | | | | |
| 人口減少を抑制する戦略 | 3 子どもの出生を促す | 平成31年までに合計特殊出生率を1.68 (平成20年一平成24年合計特殊出生率1.62) | 1 子どもの健やかに生まれ育つ環境の充実 | 4 地域における子育て支援 | 子育て支援拠点施設設置割合 (%) | 教育・保育施設区域のうち、子育て支援拠点施設ができていく割合 | 100 | 100 | 100 | 地域子育て支援拠点事業 | | 259,548 | 地域において乳幼児及び保護者が気軽に、子育てについての相談、情報提供、助産その他の支援を行うなど、相互の交流を行う場所を開設します。 | 現況交付分 |
| | | | | | | | | | | 子育て支援拠点施設整備事業 | | 9,741 | 子育て支援拠点施設整備事業、地域支援活動推進事業、子ども未来ネットワーキング会議、すくすく子育てプラン進捗管理などの、地域における各種子育て事業を支援します。 | |
| | | | | | | | 100 | 100 | 100 | 子育て相談事業 | | 2,249 | 子育てに関する多様な課題や相談に専門の相談員 (保育士) が対応し、適切な窓口や支援機関、子育てサービスを紹介します。 | |
| | | | | | | | | | | 子ども医療費助成事業 | | 1,703,368 | 通院については、小学校卒業 (0歳から12歳未満) まで、入院については、中学校卒業 (0歳から15歳未満) までの子どもに対して、保険診療に係る自己負担を助成します。 | |
| | | | | | | | | | | 多子世帯食料等減免事業 | | 469,893 | 幼稚園及び保育所等に入学している多子世帯の保育料等を減免します。 | |
| | | | | | | | | | | 子育て世代応援型住宅等支援事業 | | 10,000 | 祖父母等の協力を得ながら子育てすることを念頭に、三世帯同居又は近居を推進するため、転居等に伴う費用の一部を助成します。 | |
| | | | | | | | | | | 育児休業事業 | | 107,451 | 児童が、病気の回復期に至らないが、当面の症状の急変が認められない場合や病気回復過程にあるものの、養育費が困難な場合に、児童を産後休業等に付随の保育室で一時的に預かることにより、子育てと仕事の両立ができる環境を整えます。 | |
| | | | | | | | | | | 放課後子ども教室事業 | | 22,185 | 放課後等における児童の安全で安心な居場所づくりを図るため、地域の協力を得ながら、各地区に、コーディネーターなどを配置し、学び、スポーツ、文化活動、地域の方々との交流活動等を行います。 | |
| | | | | | | | | | | 放課後児童クラブ事業 | | 790,896 | 児童が就学後等に、小学校の余剰教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。 | |
| | | | | | | | | | | ファミリー・サポート・センター事業 | | 13,090 | 仕事と育児の両立を支援するため、地域において育児の援助を受けたい人と行いたい人からなる会員組織として、ファミリー・サポート・センターを設け、育児に関する相互援助活動などを行います。 | |
| | | | | | | | | | | 私立保育所運営支援事業 | | 5,195,595 | 私立保育所において、保育を必要とする乳幼児に対して、心身ともに健やかな保育を行うために要する費用を支援します。 | |
| | | | | | | | | | | 認可外保育施設支援事業 | | 40,237 | 認可外保育施設に入学している児童の福祉向上や保護者の経済的負担の軽減を図るため、認可外保育施設に対し補助するほか、施設に入学している第2子以降の児童の保護者に対して補助するなどの支援を実施します。 | |
| | | | | | | | | | | 私立認定子ども園等施設型給付事業 | | 1,892,248 | 私立認定子ども園、施設型給付を受けられる私立幼稚園及び小規模保育事業等を実施する事業者が、教育・保育などの実施に要する費用を負担します。 | |
| | | | | | | | | | | 男女共同参画社会推進事業 | | 1,167 | 男女共同参画都市宣言 (平成9年12月) の趣旨を継ぎ、関係機関や関係団体と連携、協力し、男女共同参画社会の実現に向けた各種行事等を実施します。 | |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 職 略 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 実施の基本的方向 | 具体的な施策 | 指標名 | たかまつ児童総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月算定 | | | 達成名 | 追加・完了 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方創生交付金等 |
|--|-----------------------------------|---|---|----------------------|----------------------|--|---------------------------------------|----------|-----------|-------------------------|-------|--|---|----------|
| | | | | | | | 平成26年度実績 (現況値) | 平成27年度実績 | 目標値 (H31) | | | | | |
| 人 3 子どもを 生み育て やすいま ちを創る を抑制する 戦略 | 3 社会を生き 抜く力を 育む教育 の充実 | 平成31年までに合計特産出生率を1.68 (平成20年—平成24年合計特産出生率1.62) | 1 子どもを 生み育て やすいま ちを創る を育む教育 の充実 | 1 確かな学力の育成 | 確かな学力の育成 | 学校評価平均 評価得点 (概 かな学力の育 成に関するこ と) (点) | 3.16 | 3.21 | 3.20 | 英語教育推進事業 | | 115,516 | 各中学校に、外国語指導助手 (A.L.T.) を配置します。また、小学1年生から実施する英語教育において、学級担任を補助する英語指導補助員を全小学校に配置します。さらに、夏休休業中に高学年児童の補習を対象に、1日英会話生体体験教室を開催します。 | |
| | | | | | | 各校の評価得点 (最 高値4点、最低値1 点) の平均点 | 3.16 | 3.21 | 3.20 | 理科教育支援員派遣事業 | | 3,642 | 小学校の指定校に、主に5、6年生の授業を支援対象として、理科の授業等を支援する支援員を配置し、理科授業の充実を図ります。 | |
| | | | | | | 各校の評価平均 評価得点 (体 力・運動能力 の育成に関する こと) (点) | 3.16 | 3.21 | 3.20 | 菊池寛及びその作品から学 ぶ「算学」事業 | 650 | 菊池寛の生い立ち及び作品を掲載した文学作品を作成し、各小・中学校へ配布し、菊池寛及びその作品に親しむ学習を行います。また、遠征や特別活動等の時間に、菊池寛を通して、自らの生き方を考える学習を行ったり、高い志を習得する学習を行います。さらに、小学校において、菊池寛の作品の朗読劇を出演講座として開催します。 | | |
| | | | | | | 各校の評価得点 (最 高値4点、最低値1 点) の平均点 | 3.16 | 3.21 | 3.20 | 情報教育推進「パイロット学 校」 | 2,354 | 「G7 菊池・高松情報通信大会」を機に、全面に突進し、本市独自の情報教育を積極的に実施するため、パイロット校に指定した小・中学校において、タブレット端末やICT・総務等を活用したアクティブラーニングを実施します。 | | |
| 2 豊かな心と体を育てる教育の推進 | 2 豊かな心と体を育てる教育の推進 | 2 豊かな心と体を育てる教育の推進 | 2 豊かな心と体を育てる教育の推進 | 2 豊かな心と体を育てる教育の推進 | 2 豊かな心と体を育てる教育の推進 | 学校評価平均 評価得点 (体 力・運動能力 の育成に関する こと) (点) | | | | 少人数学級推進事業 | | 25,411 | 施設面では対応可能な学校の小学校5・6年において少人数学級編成を行い、個に応じた分かる授業を展開し基礎学力の定着を図ります。また、学習面では、幅広く生活面においても、個に応じた細やかな生徒指導を行い、児童の定着した学校生活の推進を図ります。 | |
| | | | | | | 学校評価平均 評価得点 (最 高値4点、最低値1 点) の平均点 | | | | 小中一貫・連携教育推進事業 | | 3,576 | 高松第一学園における小中一貫教育を充実させるとともに、その成果を踏まえ、元々小中連携教育を他の小・中学校で推進します。小中連携教育推進校を指定し、中1ギャップの解消等を図ります。また、中学1年時の学習面でのつまずきの解消を目的として、指定校に「中1スタートサポーター」を配置します。 | |
| | | | | | | 学校評価平均 評価得点 (最 高値4点、最低値1 点) の平均点 | | | | 教職員能力向上事業 | | 9,224 | 学校職員の資質・能力を向上させることを目的として、管理職研修や初任者研修、個目研修等を実施し、学校課題の解決や学校教育の充実を図ります。 | |
| 4 家庭及び地域の教育力向上の推進 | 4 家庭及び地域の教育力向上の推進 | 4 家庭及び地域の教育力向上の推進 | 4 家庭及び地域の教育力向上の推進 | 4 家庭及び地域の教育力向上の推進 | 4 家庭及び地域の教育力向上の推進 | 研修評価 評価 (最大4点) | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 子どもを中心とした地域交流事業 | | 1,500 | 地域の子どもと大人のネットワークを広く教育力向上を推進するため、各地域のコミュニティ協議会や子ども会、PTA等の連携の各種団体で構成された実行委員会が、年間7日以上実施する、子どもと保護者及び地域の大人が交流する事業に対して助成します。 | |
| | | | | | | 研修評価 評価 (最大4点) | 3.5 | 3.6 | 3.6 | 子どもを中心とした地域交流事業 | | 1,500 | 地域の子どもと大人のネットワークを広く教育力向上を推進するため、各地域のコミュニティ協議会や子ども会、PTA等の連携の各種団体で構成された実行委員会が、年間7日以上実施する、子どもと保護者及び地域の大人が交流する事業に対して助成します。 | |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 職 業 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 具体的な種類 | たがまつ衛生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月算定 | | | | 事業名 | 追加・完了 | 事業費 (千円) | 事業内容 | 地方衛生交付金等 |
|---------------|-----------------------|---------------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|--|----------------|----------|------|--------|---------------------------------------|---|----------|
| | | | | | 指標名 | 指標の説明 | 平成28年度実績 (現況値) | 平成27年度実績 | | | | | |
| 人口減少社会に対応する戦略 | 4 高齢者が健康で元気に暮らせる環境づくり | 平成31年に目標高齢者率を76.4% (平成28年目標高齢者率78.9%) | 1 生活習慣病 (がん・糖尿病・脂質異常・糖尿病等) 対策の推進 | 1 生活習慣病 (がん・糖尿病・脂質異常・糖尿病等) 対策の推進 | がん検診受診率 (%) | 本市が行うがん検診を奨励した市長の割合 | 24.9 | 24.8 | 50.0 | 完了 | 387,168 | がん対策推進事業 がん検診を奨励するほか、がん予防の普及啓発と、市民が受診しやすい環境を整備します。 | 地方衛生交付金等 |
| | | | | | がん検診受診率 (%) | 本市が行うがん検診を奨励した市長の割合 | 24.9 | 24.8 | 50.0 | 完了 | 35,792 | がん検診を奨励するほか、がん予防の普及啓発と、市民が受診しやすい環境を整備します。 | 地方衛生交付金等 |
| 人口減少社会に対応する戦略 | 2 救急医療体制の確保 | | 2 救急医療体制の確保 | 2 救急医療体制の確保 | 夜間急病診療所利用率 (%) | 夜間急病診療所前利用者を対象に実施したアンケート調査で「満足」回答率 (%) | 63.8 | 67.5 | 65.0 | 完了 | 184,710 | 医師がプロデュースする健康レストランとして、生活習慣病にならない・進ませない食生活につながる夜間急病診療所と消費拡大につなげることで、地域経済の活性化を推進するとともに、健康食のブランド化等により、新たな健康産業を生み出す土壌とすることを目指します。 | 地方衛生交付金 |
| | | | | | 夜間急病診療所利用率 (%) | 夜間急病診療所前利用者を対象に実施したアンケート調査で「満足」回答率 (%) | 63.8 | 67.5 | 65.0 | 完了 | 12,164 | 医師がプロデュースする健康レストランとして、生活習慣病にならない・進ませない食生活につながる夜間急病診療所と消費拡大につなげることで、地域経済の活性化を推進するとともに、健康食のブランド化等により、新たな健康産業を生み出す土壌とすることを目指します。 | 地方衛生交付金 |
| | | | | | | | | | | 66,335 | 夜間の2次救急医療を輪番制で担当医師確保に対して、その運営費を助成します。 | | |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 戦略 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 具体的な施策 | たかまつ衛生総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年10月数値 | | | 事業名 | 追加・完了 | 事業費(千円) | 事業内容 | 地方創生交付金等 | |
|-------------------------|---|------------------------------|------------------------------|--|---------------------------------------|-------|---------|---------------------|-------------------|---------|--|--|--|
| | | | | | 指標名(%) | 指標の説明 | 実績(現年度) | | | | | | |
| 人口持続可能なまちを創る減少社会に対応する戦略 | 5 平成31年に用途地域内の人口比率64.3%(平成26年用途地域内の人口比率64.0%) | 1 安全で安心して暮らせる社会環境の形成 | 1 救急活動の推進 | 救命率(%) | 心肺機能停止患者が社会復帰した割合(毎年) | 5.1 | 0.99 | 6.0 | 救急観等管理事業 | | 35,722 | 鷹上郡における救急患者を安全かつ迅速に届上搬送を行うために、救急搬送の搬送体制を継続するとともに、適切な維持管理を行います。 | |
| | | | | 2 災害発生時の拠点施設及び情報伝達手段の整備 | 危機管理センター(仮称)等の施設整備に係る進捗率(%) | 30 | 31 | 100(H30) | 危機管理センター(仮称)等整備事業 | | 7,087,505 | 大規模災害発生時の的確な初期体制を確保するとともに、市民に適切な情報提供し、震災などに迅速かつ総合的に対応する危機管理体制を構築するため、構造的な整備を進め、同本部と緊密な連携が必要な消防局機能及び上下水道局機能を市役所庁舎南側利用地に一体的に整備します。 | |
| | | | | 3 市民及び地域の防災意識と防災力の向上 | 防災訓練を実施した割合(%) | 47.7 | 82.0 | 80.0 | 自主防災組織等育成事業 | | 3,632 | 全てのコミュニティに構成された包括的な自主防災組織が、災害時に機能するように継続的な防災訓練の実施を支援することで、組織の育成と強化を図ります。 | |
| | 2 豊か暮らしを支援する生活環境の向上 | 1 空家対策の推進 | 老朽危険空家除去支援件数(件) | 老朽危険空家除去支援制度利用により除去した空家数 | 0 | 0 | 40 | 空き家等対策事業 | | 31,703 | 市民が安全で安心して暮らせる良好な住環境の整備を図るため、空家等の除去に関する支援や空家の利活用を促進するなど、総合的かつ計画的に空家の活用を支援します。 | | |
| | | | 2 公園・緑地の整備 | 市民1人当たり都市公園等の面積(m ²) | 8.14 | 8.15 | 9.16 | 身近な公園整備事業 | | 131,440 | 緑の基本計画に掲げる「1小学校区1公園」の整備を目標に、公園がない小学校区を優先的に整備するとともに、公園が少ない学校区においても、地域の整理等を踏まえ、市用地を活用できる場合に街区公園の整備を行います。 | | |
| | 3 コンパクトで魅力ある都市空間の形成 | 1 適正な土地利用の推進 | 都市計画区域内の人口比率(%) | 都市計画区域内の人口比率 | 97.0 | 97.0 | 97.2 | 都市計画区域活用事業 | | 7,274 | 社会情勢やまちづくりの方向性に対応し、コンパクトで持続可能な都市型の都市構造の構築に向け、必要は都市計画の見直しを行い、適正な土地利用の誘導を図ります。 | 環境交付分 | |
| | | | 2 集約地点における都市機能集積 | 中心市街地の居住人口の割合(%) | 4.8 | 4.8 | 5.1 | 多核連続型コンパクト・エッジ型推進事業 | | 5,519 | 立地適正化計画の策定や多核連続型コンパクト・エッジ型推進計画の策定を行い、地域の特性に合わせた一定規模以上の商業・医療・産業集積や行政サービス機能を確保します。 | 環境交付分 | |
| | 4 快適で人にやさしい、持続可能な公共交通サービスの取入 | 1 人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの取入 | 公共交通機関利用率(%) | 本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合※1公共交通機関利用率と1日当たりの利用者は、電車及びバスの1日当たりの利用者数である。 | 13.8 | 14.2 | 15.9 | 公共交通維持改善事業 | | 100,108 | 公共交通の利便性の向上を図るため、鉄道施設の整備に対する支援、生活バス路線の維持充実、路線バスに対する補助など、良好な交通環境を確保します。 | | |
| | | | 2 快適で人にやさしい、持続可能な公共交通サービスの取入 | 公共交通機関利用率(%) | 13.8 | 14.2 | 15.9 | 公共交通利用促進事業 | | 147,014 | 多様な交通手段が有機的に連携した、快適で人にやさしい都市交通の形成を図るため、公共交通の利用促進に向けた各種施策・事業の推進をともに、市民意識の向上を継続的に図ります。 | 環境交付分 | |
| | 2 快適で人にやさしい、持続可能な公共交通サービスの取入 | 1 人と環境にやさしい、持続可能な公共交通サービスの取入 | 公共交通機関利用率(%) | 本市の人口のうち、公共交通機関利用者数の割合※1公共交通機関利用率と1日当たりの利用者は、電車及びバスの1日当たりの利用者数である。 | 13.8 | 14.2 | 15.9 | 公共交通維持改善事業 | | 942,312 | 既存ストックを有効に活用し、新規整備事業、複線化事業、バス路線の再整備を推進し、持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指します。 | 地方創生加速化交付金 | |
| | | | 2 快適で人にやさしい、持続可能な公共交通サービスの取入 | 公共交通機関利用率(%) | 13.8 | 14.2 | 15.9 | 公共交通利用促進事業 | | 150 | 高付目経費等経費対策総合計画に基づき、バス利用者の維持増進に資するため、バス運行事業者に補助金を交付することで、郊外のバス停留所への整備を促進します。 | | |

平成29年度 総合戦略推進事業

参考

| 戦略 | 基本目標 | 数値目標 | 施策の基本的方向 | 具体的な施策 | たかまつ創造生活総合戦略 重要業績評価指標 (KPI) ※平成27年110月確定 | | | 事業名 | 追加・完了 | 事業費(千円) | 事業内容 | 地方利生交付金等 | |
|--|------|--|-----------------------|--|--|---------------|--------------|-----------------------------|-------|---------|---|----------|----------|
| | | | | | 指標の説明 | 平成26年度実績(状況値) | 平成27年度実績 | | | | | | 目標値(H31) |
| 人口持続可能なまちを創る 減少率64.3% (平成26年度地域内の人 口比率64.0%) 社会に対して応える戦略 | 5 | 平成31年に用途地域内の人 口比率64.3% (平成26年度地域内の人 口比率64.0%) | 1 高松空港の利用率の向上 (万人) | 高松空港を継続する 定期航空路線の年 間利用者数 | 173 | 178 | 188 | 航空路線拡大促進事業 | 完了 | 179,652 | 高松空港の新たな展開を図るため、現航空路線に対する利用促進の策に 加え、圏内及び圏外路線の新路線開設に向けた取組などを行います。 | | |
| | | | | 市内JR線の 乗降客数(千 人) | 6,900 | 6,986 | 7,702 | 広域送迎交通圏整備促進 事業 | | 636 | 「四国」鉄道高速化連絡会」や県内全都市で組織する「香川県JR四国線 線電化・新幹線導入促進委員会」を通じ、国に対し、四国の高速鉄道(新幹 線等)の早期導入の要望活動を行います。 | | |
| | | | | 中央商店街の歩 行者数(歩行者 数) | 118,731 | 128,857 | 141,000 | 中心市街地活性化推進事業 | | 1,089 | 「にぎわい・回遊性・豊か暮らしのあるまちを目標して」をコンセプト に、中心市街地の活性化を図ります。 | | |
| | 6 | 地域コミュニティの自 立・活性化 | 1 | コミュニティ プラザの設置 率(%) | 54.5 | 63.6 | 100 | 地域まちづくり交付金事業 | | 308,439 | 地域コミュニティ協議会が主体的に行うまちづくり活動を支援し、住民自治 及び市県と行政との協働による地域自らのまちづくりを推進するため、地域 コミュニティ協議会に対して、地域の各種事業に交付される補助金を一元化 して交付します。 | | |
| | | | | 圏域における生活 圏での生活開 通機能サービ ス等連携事業 数(事業 数) | 45 | 51 | 50 | 瀬戸・高松広域圏圏域中核部 市圏ビジョン推進事業 | | 1,184 | 圏域における人口流出の抑制、維持に貢献できるよう、本市が中心となっ て、圏域の経済を活性化するとともに、住民の生活環境の利便性を維持向上 させる連携事業の実施に努めます。 | | |
| | 8 | 健全で臨 びあがる 行政推進 官の確立 | 1 | 各種方針・計 画等の進捗率 (%) | 45 | 50 | 100 (H29) | ファシリテイーマネジメント 推進事業 | | 3,138 | 本市の公共施設・公用施設について、施設の保有総数を削減するなど、施設 に係る経費の削減に取り組みます。また、公共施設サービス等の維持を図るた め、ファシリテイーマネジメントの考え方を取り入れ、経営的な観点から、施 設の用途転用や共有化による有効活用の促進や配置の見直し、複合化、未利 用スペースの貸出など、施設の運営方法の刷新を行います。 | | |
| | | | | 施設の時態整備につ いての各種方針・計 画等の進捗率 | | | | オープンデータ推進事業 | 追加 | 2,600 | 今後、官民データ活用の推進が促進される中で、市民サービスの充実や経済 の活性化を始め、地域住民やコミュニティ、本市が抱える課題の発見、解決 につなげるため、まずは本市が保有する公開データのオープン化を推進しま す。 | | |
| | | | | | | | | | | | | | |